



嬰女鳴館遺草

五

元山

9
3521
5

學大田稻早
館書圖
庫文田內者託寄
號00-第書托寄
6
號12第
劃5第



3521
5



嚶鳴館遺草卷第五

法為く〜ゆ美之の事
つ〜〜在の平〜と成此境ゆ所大概言位貴人少
知魚通の法ゆ復美する事稀〜と各位素賤の
士少人知識人少勝進徳ゆ在〜と其のゆも不ゆ出
ゆゆゆ〜ゆ難〜ゆ成ゆ為愚を所見ゆゆゆ〜ゆのゆゆ
ゆゆ〜ゆ知はゆ先以高貴のゆゆゆ〜ゆゆゆゆゆゆ
ゆ心ゆゆゆ必竟〜ゆ好字ゆ續書ゆゆ力〜ゆ感ゆ仕ゆ
愚を淺字〜ゆ所見愚愚〜ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ



大正七年九月廿四日寄
内田 糸子氏 贈



カ邊
2933
6-5

山本六舟内

ゆめを夢同よほしむる後夜や上るふ教くふとよ
は用拵て下る先つくとやおのよの王子王侯のきき
あるより下の山形細式の昇儀よ玉までけ世よまれ
ゆめをき候教とやそのよと人とも成るやうに
赤子のうららの混く沌くほぎやうより外のきく物
ゆめ父母がうたうくゆめひごらんとして乳とくめき
いふてききせあつていふてぬぐを寝むいふてけしお
のうらよりきくとやゆめを解くやうにやと成るやう
成る教として無理を拵よふいふと成へ梅目るん
年も成るやうに成るは是も御きゆ福よお成るゆめ

父母兄弟とゆめ家内いふ福の人がぢうとくつかと
や習つて月日と指く人のいふぬとよがよせ花とくつ
あういふとくつあういふとくつや成るやうに
とくつと拵くせあういふとくつあひおとせす時の
同も成へるやうに成るは是も御きゆ福よお成るゆめ
十五とくつとやせばはあういふとくつ身分まわの
け合とくつと教く拵んきん管を意の辨義拵授る
人あういふの拵るやうに成るは是も御きゆ福よお成るゆめ
とくつと拵るやうに成るは是も御きゆ福よお成るゆめ
ゆめとくつと拵るやうに成るは是も御きゆ福よお成るゆめ

毎へも此知達の時より御もあしと有るは
 父母見や振る目といひし齒とておし戒免て
 かへするものそとせぬものぞとて志よりけり
 此れは知見の時よりそのふを思ふ業をいひし
 自然と是を苦しむ心苦し大儀なる業をいひし
 智人の業とて目教と悟り成すといひし
 利あるも悪純なるも人間お慈の勅に致し
 するも中よ福徳厚く受けて生れたる人の物
 是れよりいひしこれくは智人同振る志といひし
 善業と致し講釋とてなり少く完全点と有るよ

此の日月の面ありお成まよりそと人をも釈まぬ
 辛苦なる方とも自身と好むるなりしは父母見
 の子と離れ他におもひ我他人の交りとも廣く
 致し堪忍用捨とも致しおしめて飢渴の難儀とも
 身よとて中人情の厚薄なるの苦楽とも毎へ
 賢者ある人とて人教ひしむしお等指南と致し
 受て古今の世の姿あ危存亡の理まてまぬはり
 身よ微友や縁ともまぬれ自然と人とも信用せし
 りるは名譽の人のお成業賤のまうとてしる位貴
 人のあしと相候し治む安民の法とも頼りし縁よ

形をいさるるりよとて世の時人共々も徒然と人
我もつ屍たぬあらの身は上よと足程持の機嫌
孤き大切よらぬたぐり物とて無へるる物を死
死して人の心と取らずらぬ人の場所よし
身の代りよ形ぬと申さ理を存し申中よも
名持賢まこと言えらぬ人の心ぬ分けぬ毎人ふも
勝る我つ己切の志趣才覚よと人何るものもぬ
そのと申し所と傳ふとてぬとて家来眷属と申す
手足のゆく大切よ存し申す足のゆと心部の
主と形しれり時人忠義を切し長少人言忠義職とて

扱事無へ身よとて主室をぬれ身も人くとて人
一身の首よりと大切よぬし手足の力を取らぬ人の
為玉のぬる人身と若草もと不存志ふ脚とて足あり
て世の請ふとてと交むらへき時人命とて捨て練る
差別とてとてととぬるよしは練し我の忠良よとあり
練して忠良とてととの存するのよ本と人成るの
と申し忠良の存るもよととの極言を修めるともとてとて
友よん生れ出むらとてととととととととととととと
へき福徳いたとて生れ付むらととととととととととと
ゆねとととととととととととととととととととととと

人の行く人よおたふれゆくはよお成す馬術よ
 功をあらん人の行く處をも致しゆく人よお成す
 度をも打れぬす度も成るす稽古修めも如く
 て直よまはるよお成す人のなき人をも知度より
 ちびく殊途の長よはちりれむして行く赤面と
 成る人のくつりすもめめ思は得よ成るよ
 今も是ハ今の世中よ人なき事ハ世成る色
 古今の古籍一宛一紙の成る名成す一往くる
 思へ唯け成る修め功と積む人一人もして中し
 成結よすの盲蛇よお成るす人一人も人勇まなる

その成も無びと思ぬす人一人も我と成蛇り
 目よ人思ぬぬよとげさ踏つても是と成れを
 中んもし成し必竟學問と成ぬるも古今の成りも
 成なる何あやぶと思れぬ事成ひ用らも成る事成
 成法の成成事成よお成るも成る成もよ成りき
 成り成成成成成成と成れる成も成る成成成成
 一生と成す一草木の枯朽成成身と成りたる成人
 何成るも成りぬす下成成成のものも成成成成
 下成と成成成成成成前成成も成成成成成
 の身と成れる成も成る成一人一人は身と成り

ゆふてんをき理よそん人がゆるしつ生うゆをれ
ふしゆ付行年一つ生よあ来よんかも今くいこれ
ゆふとあゆもくさゆくの堪忍苦方と致し一才
あやお慈におのれが心かすとくしゆゆゆんを中より
名差歌をたの人も多く出来しゆゆの当然と理お付し
貴人と生れゆるん者しゆあ心苦方ゆも人よとを
思ふも惟も人よと我のあし一生ん縁とすあより
賢知有徳のあゆ稀成ものとおんしゆゆ核がゆるん
我の我よし縁しゆゆ辛苦のいゆあものしゆ核におあ
ゆるた人と生れゆるんゆゆのああといゆゆあた人

あひしゆゆもありて我う我よりああも惟も致し
ゆるんゆゆ我らよし一生も我一生もしゆゆしゆゆ
もあしゆゆのああも惟もしゆゆゆるん我らよそんあ
あきしゆゆも人ゆゆ生同執も我身のあそあきしゆ
よゆゆしゆゆと行戸飛肉もゆゆ碎生受死もゆゆあぢ
あゆもゆるんゆゆ組しゆゆあゆもゆゆあしゆゆあれる
あゆの上下あゆゆ同執もあゆとあゆしゆゆ人ゆ是非
善悪のゆゆあゆゆ及あゆゆあゆ候あゆゆあ果報目あゆ
あゆゆあゆゆ出あゆゆあゆゆあゆゆあゆゆあゆゆあ
ゆゆゆゆあゆゆあゆゆあゆゆあゆゆあゆゆあゆゆあ
ゆゆゆゆあゆゆあゆゆあゆゆあゆゆあゆゆあゆゆあ

此よりゆめを志すの心とよくおきあがりし業おけたる理を
 人も生れより日は晒され風もも海に臨み自然の
 身を暖よ身骨が振ひゆるかに病壯健よ生ずる
 中し我よ若人としておん生れてよりけ振ひをうけ
 ますとわくく一糸よ業力も自然と成りくそのふ境へ
 思ふことうらまきいそのよをせしむる人何より業お
 せんを業力とてよく扱ひあがりゆるる成りよ及んぬ
 まつ習習と油のぬるるをゆるりゆるり人業をよ子人
 とうく親のまねと教へゆるり初より見煙ひは煙
 ひは家よりけし良子の子人業と作り良治の子人業

根作り煙ひゆるり自然よりけし我の子たよ業と
 為ぬ度なるゆるりまつ親の業と教へゆるり
 ゆるり自然と理よりけしあつて西子業は業の種を
 修り我ははははぬ度なるゆるりまつ自己よは親と
 業ゆるり及りよ上なる候ゆるりまつ上なる下りの子た
 業初年より親のぬ扱ひも無造作として彼振ひたま
 して業ゆるり退座天候といふと名を中しは入ゆるり
 なるの作業も次より業若し業若し業ももも存親習ひ
 ゆゆるりゆるりも面白くあつて身ゆるりゆるりゆるり
 不ゆるりゆるりゆるりゆるりゆるりゆるりゆるりゆるり

とも虫の業しを結ぶも中々色虫の業人あがきよ
 勝るおんまろくゆれよ古今の名將懐る心とや種
 人のこの苦口とたぐく人と秘義致されゆる甘ととや
 家来と厭ひ嫌われゆるのたまふ但し人徳とや物
 我と我同志の間搦ととも人の業人さなはくぬ
 目いさるやうく檄姫不捕よ苦はんやあつおよ
 かなる海してまゝ志の威ハ雷運よりも忍たりのふ
 中をゆるん中くまろくの業人さなはくぬ
 中よりいさる難ぬるりあ及中々然ハ心子をへ業人
 の種有古成させられ度るるなり先つけ業人と搦と

此附らぬりの業人つのはてとすもるるも上よそは
 此修めぬる方は必難況や何様もとお酒いす
 るのたまふく上

○人君の側少く怨角正也よものとす人な言は候ゆや
 と是くはるるも悪を正答中々流と符合致しゆ月
 此安眠はぬるのゆりの大業ははた併是罪悪あとの
 くの致兵別と成す中々此種の人よゆりのとさるるの
 此のゆを水為はらゆやゆ何方ゆても此家来の
 教多しゆなゆともあつあな候と毎へ急と流るる
 此ゆ種の人ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ

持少人の我意ありと存少人か人をも言くゆゆたふ
 無へ是之ゆ力なきゆゆ人か上度儀も中極も不存
 むと口出も難致る中少人不徒に存ゆゆたふ
 だまりゆゆたふ目く致さる中ゆゆたふは解義も有
 りゆゆたふはこれゆゆたふゆゆたふゆゆたふゆゆたふ
 ゆゆたふゆゆたふゆゆたふゆゆたふゆゆたふゆゆたふ
 存ゆゆたふ是非善悪と無へ中ゆゆたふゆゆたふゆゆたふ
 手後人よる理と致せゆゆたふゆゆたふゆゆたふゆゆたふ
 中ゆゆたふゆゆたふゆゆたふゆゆたふゆゆたふゆゆたふ
 ゆゆたふゆゆたふゆゆたふゆゆたふゆゆたふゆゆたふ

是ゆゆたふゆゆたふゆゆたふゆゆたふゆゆたふゆゆたふ
 つゆゆたふゆゆたふゆゆたふゆゆたふゆゆたふゆゆたふ
 存ゆゆたふゆゆたふゆゆたふゆゆたふゆゆたふゆゆたふ
 口ゆゆたふゆゆたふゆゆたふゆゆたふゆゆたふゆゆたふ
 存ゆゆたふゆゆたふゆゆたふゆゆたふゆゆたふゆゆたふ
 のゆゆたふゆゆたふゆゆたふゆゆたふゆゆたふゆゆたふ
 ひゆゆたふゆゆたふゆゆたふゆゆたふゆゆたふゆゆたふ
 存ゆゆたふゆゆたふゆゆたふゆゆたふゆゆたふゆゆたふ
 人よ善へゆゆたふゆゆたふゆゆたふゆゆたふゆゆたふゆゆたふ
 無へゆゆたふ善とゆゆたふ善とゆゆたふ善とゆゆたふ善と

情の解極なりけぬの主人よはお成り由之る初の備志
へして六ヶ敷自ら多年の精算の功とそを在りて
向へもきぬる致度微妙と経と細く説たるよし
つ有るは然るよしわくお成り由之る何の事か
一向得も成念なりけり返成も致しけり成候よ
と有る後の備志の定る功志よし書面も色紙に傳へ
倉持の相成り候と大さやふすりて海舟を如
くよ成り候理もかめよかり実なりけり面あり候は若
しものよ成る物と徳氣をよきぬる候ひよお成
り候よけり候と桑の向成能離子よしと云ぬ内



返成も成り候と成り候と成り候と成り候と成り候と
人情もそ成り候と成り候と成り候と成り候と成り候と
ちり候と成り候と成り候と成り候と成り候と成り候と
上り候と成り候と成り候と成り候と成り候と成り候と
主人の候ひ候と成り候と成り候と成り候と成り候と
家来が候ひ候と成り候と成り候と成り候と成り候と
嫌ひ候と成り候と成り候と成り候と成り候と成り候と
物と成り候と成り候と成り候と成り候と成り候と成り候と
本よ成り候と成り候と成り候と成り候と成り候と成り候と
中よ成り候と成り候と成り候と成り候と成り候と成り候と

致すべくして後世に於ては相別おんおれの子孫として
刑に於ては死ねば中絶なき事極度の人世の師道と
一人の道徳の成るのみならず師道一人の道徳の成るのみ
如し中絶なき事極度の人世の師道と
中絶せざる理も及理の同一と及理の異なりたる事
多く集めたる中絶せざる事人をも我師の事なり
多かる事人身の事なり中絶せざる事人をも我師の事なり
と云ふ事と云ふ事なりと云ふ事なりと云ふ事なり
人々之を行はざる事ありと云ふ事なりと云ふ事なり
多かる事人をも我師の事なりと云ふ事なりと云ふ事なり

致すべくして後世に於ては相別おんおれの子孫として
刑に於ては死ねば中絶なき事極度の人世の師道と
一人の道徳の成るのみならず師道一人の道徳の成るのみ
如し中絶なき事極度の人世の師道と
中絶せざる理も及理の同一と及理の異なりたる事
多く集めたる中絶せざる事人をも我師の事なり
多かる事人身の事なり中絶せざる事人をも我師の事なり
と云ふ事と云ふ事なりと云ふ事なりと云ふ事なり
人々之を行はざる事ありと云ふ事なりと云ふ事なり
多かる事人をも我師の事なりと云ふ事なりと云ふ事なり

中へ不徳ありては我ア人のちりともぬ人とも
下し古賢先聖にむし難濟一珠の賢者我に死
及理も善やふぬ遠ひし有りては我がと思れ兼
善ひの知こそ徳謙の徳と稱しゆりする心さめて
又也一たるこそち死と為る大相よ中唱たる俗人
知事よ一ちりよと自己の手扱とらぬ我人の善ふ
所よそむれたる人よちりよる名を官の甚愛をよ
世にけ極する程為の人程よおぬぬ人よる我にぬ
彼我彼まぬよ何のちもち死するもあはるうこの
孝同をよそし解一たる人よおぬぬりせよにぬぬ

種ハ一粒おぬぬをちりぬぬ子粒万粒おぬぬ
ゆり先大り成儀は但しぬぬ心よぬぬ心通ハ
ま計よそりぬぬも程ハ心通とちりぬぬ人の同と
得ものよぬぬ十の内三ッ四ハ名無なる先残り六ッ
七ッ位ハ名ハ取不中ぬぬ人の信作も世にぬぬぬぬ
博學多識勿論ぬぬぬ然し唯博識多才ぬぬぬ
躬行ぬぬぬぬ人と用ひぬぬ時人欠宗正宗ぬぬぬ
結構するにぬぬぬぬ援身のまぬぬぬぬぬ指ぬ
同根よち用ぬぬぬぬぬ自身の悟意とぬ
出しぬぬぬぬ先素志をぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ

通すは候まじり花壇中より一本も三毛も取らば
 百姓の業大根と作りたり一本一株も大切より一
 一畑の中より上玉果も有へばも有大小不精りても
 まゝに大りのよき育てしりる花も口の起も食用に立て
 中よりと身くけ苗根の心持と毎へて中よりと身く人
 へて根少く無くとものでして概に我持方の通すよれと
 仕せし中りと存り根少る所等より人等取少くも地意
 けもの小西産の赤悪七不中まゝにお悪取らしりる必
 止人おとくお取らぬ人何れも取用する立ものごとく
 無く漬度根少るる人の所長少く難致るり身先

ヶ根の取西動方にては取らぬ所種の撰とては
 出後の中物少く数多有るゆゆり悪を大板と中板の上
 ○ 遣くは候魚の身強出家中に学問は行不しゆる
 不付織と名取ゆゆりては傷も心取らぬ指南取らぬ
 度と名取ゆゆり時学問少く種く流我も有るゆゆり
 何事とて取らぬ又種と取らぬゆゆり時取らぬ程朱子
 仁義流組流流之流の内是罪と致変定ゆゆり上り根
 この取らぬ取らぬは候悪を先賢先年の学術
 是是罪と致裁ゆゆり上り取らぬ中取らぬ程朱子
 出後先取らぬ取らぬと興りては根の人の何事たる

此所作ありて但一先ち違つたは違つて色海輝き
 人との所作はよは立立成るあふと一我の彼業好のきく
 けりゆれん致るあふと一及理とゆりて一龍角人の死の
 死細く牡丹芍薬業枯枝死に其業好交りゆりし
 つりてとも生花世入用の時人此生花業好ありたるを
 形りとも香かすとも一花形とゆりて用さゆりて
 何十本とゆりて瓶へ出ともてゆりてとすなるとも
 づりて悪きとも枝も蒼色し一と捨りて業好の業
 業つともゆりてゆりて万民のよものおほふゆりてとす
 存人の死に善悪唯二色りとすゆりて善人多く生一

悪人の滅一ゆれりゆりてゆりておの業化の本立不きく
 俄とす存ゆりて一死咄とゆりてゆりて有るゆりて或浄土
 宗の所作宗流の肉よ肉よ法華と信一ゆりてとゆり
 善悪存一浄く業滅致一ゆりて人の産あも
 法華佛よ形ゆりてゆりてゆりてゆりて法華と信一
 業ゆりてゆりて極楽生るゆりてゆりてゆりてゆりて
 善人ゆりてゆりてゆりてゆりてゆりてゆりてゆりて
 宗の人致死ゆりてゆりてゆりてゆりてゆりてゆりて
 地獄そのゆりてゆりてゆりてゆりてゆりてゆりてゆりて
 ゆりてゆりてゆりて念比致一ゆりて法華宗流のゆりて

大方性生取致一其々の有るに生現立付此の有り
此身自然に一概に法華佛よ成就を難し（中）
此時吾師大したる事とと換一拙く苦く事事しと
左様とれん弥陀如来も言ふ事か（次）たといは成
大善業の人とも致せ我祖師深空上人の二教記請と
背き他宗と念一ん志とむも極楽性生と為致
孫元へ引寄られしや阿彌陀如来の不動合と
なるたけりて悪徳とて言ふべく性生極楽取願ひ
言ふ事なくりしや此中大難在上の徳志は皆淨土宗
吾師と一般の尺蠖と異なる古今の徳賢と活と母の

人何れも先聖先賢の教とて言ふ事致一なるべし
と云ふたといふ孔孟の本意とて言ふ遠くも我流義の
祖の遺言とて言ふ遠くも言ふ事とて言ふ何れを奪はる致
儼として言ふやしとて言ふのせよ生れり人にて説かむ
生れり人の身も言ふ事とて言ふ悪を如き生徒無徳者
もこの事言ふ幼より書物と讀むも秦漢の好の
徳也程子朱子亦のきと何ん仁高祖法孫の尺蠖
とて言ふ事とて言ふ新おこしす志の悪んとも一極小人
おれりとの事言ふ然り人おれすけ悪徳の度大善業と
儼と云ふ併しとの教の教へる事とて言ふ也此の上

ゆしほつゝの思老さど及ひ不中作くよ上達も有る
唯るつ一家の政りも手厚く人々悦ば致しゆ程の
方々も追々有るゆ思考さどおに新編もささく
ゆゆ人論より説教より説の通り作る思ふいぬ
是れゆふとほ思考ゆ程の秋しもの内より人財とて人
詩作のあそひ文章の樂しきさど有るゆ是又
學問のつるゆゆゆまよりいりゆとれく義理の面白き
ものゆゆにおゆゆゆの自然とさるゆ然ゆ中し朝之報
よと人先ヶ程ゆゆとて用ゆゆゆ存ゆゆゆ致しゆゆ
學問くゆゆ各目計ゆゆゆゆゆゆゆゆ目ゆゆ

ゆて海一帯ゆゆも不少極ゆ存ゆ必免ぬゆゆ極の
ゆゆ程ゆゆ存ゆ但しゆ人思考ゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆ又特識ゆゆゆゆゆゆゆゆ
度ゆゆゆ存ゆゆ上

○追々ゆ改りゆゆ扱ゆゆ寫しゆゆ考ゆゆゆゆ角上
一和ゆ改ゆゆ人何ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆ漢ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
成然ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ

と申す時人貴賤上下の差別なく人々を以て官と申す
れども是非曲直を以て後為す論判して一々の事世の
為の上下より達する皆く五寸一人の事也との説
しるを家老執政は亦へ是申しして低頭奉伏致し
安否を以て世の外に一切も申しして是非を指當下知
次申す畏りて退きしは官長と致すては之れは
ゆゆの友長より致し申す後申す受の事ゆゆの事
よ彼一申す亦へ官長とて申す存するは流すも一寸の
虫も申す五寸の魂と申すゆゆの人々後申す是と非と
有るゆゆの事あれども知志は實志の事也

面は海との悪風吹すも増長致し新おてん者も極々の
蒙授と申す合しして向て人お事し一月より人々も
笑ひし極する悪情と申す申すゆゆの事ゆゆの事
とて申すゆゆの事致し申す申すゆゆの事ゆゆの事
悪意の事致候ふへは招き趣りて免く致違當り致の
事治致しゆゆの事ゆゆの事ゆゆの事ゆゆの事
ゆゆ一月と度免致すゆゆの事ゆゆの事ゆゆの事
舎舎致し鎌書るゆゆの事ゆゆの事ゆゆの事
致すゆゆの事ゆゆの事ゆゆの事ゆゆの事
酒者もゆゆの事ゆゆの事ゆゆの事ゆゆの事

出原切の山我族よ何ぞ彼を必死敵と見せしめたるの有り
と事と相成る事なり

○人若くは其の父母より少くも人の子たるも是れ父母の所
成能く母へ事ありし初要く後と云ふ所なり切角の精力
以て一孝徳の山向ひに成り極くは成りし事なり
老角時世の俗習として主人の意向に成り送理する時
其れ成りて人より親執情を以て後世に送るべくして
相成り後といふ所なり成りては事なり極くは迷惑なり
少くも人の子たるも是れ父母の所成りたる事なり是れ世
判る人の子たる情元より成りたる事なり是れ少くも

吾是非より成るる世に仁智の徳も勇も徳無く
ゆへ人不知りて成るる世に勇猛も成るる世に成りたる
事なり成るる先能く考へて其れ成るる世に成りたる事なり
ゆへ人不知りて成るる世に成るる世に成るる世に成るる世に
家なりと云ふ世に成るる世に成るる世に成るる世に成るる世に
拙くして成るる世に成るる世に成るる世に成るる世に成るる世に
かゝる世に成るる世に成るる世に成るる世に成るる世に成るる世に
成るる世に成るる世に成るる世に成るる世に成るる世に成るる世に
道具材木より成るる世に成るる世に成るる世に成るる世に成るる世に
つ日とも成るる世に成るる世に成るる世に成るる世に成るる世に

而くしとんとは用ゆるのこもす人熱て人の失ん或別
破能彼交ゆる人たしくいさ失有くゆてを救ひて先
ゆのこお成ゆる身者より人善ん練淨れ長成實よ
多致ゆるのこ成在れ然れ練淨れ長とは用ゆる元来
自身れ徳ゆゆるる成れ一向を理よくく横紙
と破りゆる人善ん致方も善くゆるるる者より練淨
の長有れゆるる成よ不純を必と滅ゆる善を教
ゆるるるゆる般の末もと箕子微子王子比干膠鬲
形と中れ實念の大長持ひ存りゆるるを紂王不信用
ゆ時人致方と好くゆるりく般れ世人をびゆる今人善

さるの身より自らより是非邪心のうもゆるる善くくと
中の人下るるものい善なるこ子成りゆるるゆるその
無分別は随ひ破連を根れ下りゆるるもく朽腐り
ゆるり外の善くゆる然れよ自己心より思れ徳とゆるる
ゆるれとや所よりゆるる理のふる善ん成出す先人の
ゆるる身も然し人善の的智よゆる純ゆるるゆる下なる
その心身安樂する根元よ有るゆる善と迷惑ゆるる
人の行をす極ち起至悪れ人成在ゆるるさゆるる
人くよん成れ善ん成ゆるゆるる想ゆる善改と成るゆる
中人實念の人の扱ゆるれとやと目善よと成るゆる

至悪坊人のけさよりまゝに取扱ひきりしりて
そのう等と用ひりし者より多く其れを奉げ不能
成すへるのふたる人のゆるよとて其れを
と明智の敷一のゆるは風を根より吹おろし下
愚昧のそまのそ風よけびきりしりて
川のそばありてそ愚の明智とけし有るる
おぬとのにそ愚を弱きなりし長崎の遊学
のそ笑止する後目前より有るなり或町人
河豚汁と好死すなりけり隣家より死
成ぬ一町家の身主と念比はおぬ彼がけし

好むなりけりて毒く其れと敷一のゆる
よ存一一家内がけしと法度よりけり
した志懐りけりけり死に隣へ入り
けしと毒めりしなり彼是なり合き
終よ各毒なりと毒なり中たぐひ
かぐけしとたぐひなりけり或けり
求めりし一家内おぬなりたぐひ
あたりの毒なり毒ありけり毒あり
聖物よけり毒なり門戸に毒あり
あなと毒なり毒あり毒あり

前よりいそいで倒れ居るかき河豚の毒はあ
 りのゆゆはおんれを内よふてつちて人電は前よ
 伏し居るは息をひたすの毒は解りて
 あり人糞が妙薬とて糞を用ひゆる人暫も
 けし是の仕合よよとて中よりを心で彼方の今日
 を家内折交あやぐけとたぐり私にうねく隣の
 此函志の幸りゆ致むよ存一たぐり中りゆあ今日
 主人夫婦またつり主とたぐりおのま一人たぐ
 り中りゆとて叱られゆる身無き非少くたぐりり
 そと隠して持やりゆりゆゆゆとてとち中りゆ

函志の身の安全を憂へる人は此を然たつて好まざる
 却り身の安全を思ひぬるゆゆとて好まざるが
 身の安全と悦びぬるも我も生れ居る毒とたぐ
 り人此小でんちゆ人おつりゆ人よと此を然たつちも
 ありて毒と少く後れ居る糞の粒ゆゆを命の助りゆ
 としそのゆりよ金くゆ粒ゆり糞もたぐりゆ
 すべて俗情のとうとてゆり多きゆゆのよ此を然たつち

嬰鳴館遺草巻第五

